

# 総合型選抜入試【体験授業型】評価方法

学科／コース	選考内容	評価方法
英語英米文化学科	レポート	講義を受けた後のレポート作成では、授業の概要をまとめた後、これに関連付けて自分の考えをまとめる。理解力、論理的思考力、本学科の専門分野に対する理解や意欲などを、審査し評価する。
	面接	レポートの内容、英語の学習歴、志望理由などについて質問する。質問を通して、コミュニケーション力、入学後の学びに対する意欲、卒業後のビジョンなどについて評価する。
外国語 コミュニケーション学科	レポート	受験生に対し、講義テーマに基づいた個人レポートを課す。要約力、論理的思考力、文章構成力と学科での学習に関する意欲や理解などを審査し、評価する。
	面接	①志望理由（学科を志望した理由、大学で学ぶ熱意、将来像）②高校での「総合的な探究（学習）の時間」で学んだ成果や学内外での活動を入学後にどのように活用するかについて質問する。本学科での学びへの理解・意欲・自己アピールなどから総合的に評価する。
音楽芸術学科	授業（アクティブラーニングを含む）	1人30分の実技レッスンを実施する。曲目はバロック時代～近現代の作曲家から任意の作品とする。基礎的な演奏技術と表現力、実技レッスンに対する意欲や理解力、音楽的資質などを総合的に評価する。
	レポート	実技レッスンに基づいた個人レポートを課す。レッスン内容についての理解、発見した課題への今後の取り組み方などについて、主観的・客観的に記述できているかを評価する。
	面接	個人レポートの内容、音楽分野における学習歴・活動歴及び志望動機に関する質問を通して、入学後の学びに対する意欲や将来の展望を明確に持っているかを評価する。
生活マネジメント学科	授業（アクティブラーニングを含む）	講義及び実習の内容を踏まえたグループディスカッションを実施し、振り返りチェックシートを用いて、受験生自らの発言・意見についてその積極性や協調性、論理性などを評価する。
	レポート	授業テーマに基づいた個人レポートを課す。簡潔に要約できる情報の取捨選択能力、自分の見解を論理的に記述する能力、文章構成力などを含めた基礎能力、および大学で学ぶ熱意、ビジョンや将来像について審査し評価する。
	面接	志望理由や将来像、高校で学んだ成果や学内外での諸活動、レポートの内容などについて質問する。本学科での学びへの理解、学修に対する意欲などを総合的に評価する。
国際情報学科／メディア スタディーズコース	授業（アクティブラーニングを含む）	授業内で講義テーマに関連したグループワークを課す。また、グループワークでの協議の結果をグループ毎に発表する。グループワークの実施内容のチェックにより主体性と協働意欲を、グループ発表の内容により思考力と表現力を評価する。
	レポート	講義テーマに基づいた個人レポートと、グループワークにおける振り返りのレポートにより、受験生が自らの意見を発信する力、相手の意見を傾聴する姿勢、意見交換の積極性を評価する。
	面接	①志望理由（大学で学ぶ熱意、ビジョンや将来像）、②高校での「総合的な探究（学習）の時間」で学んだ成果や学内外での諸活動、およびそれらを入学後にどのように活用するかについて質問する。それにより大学での学びの意欲と情報を収集・活用する力について評価する。